

科目名 (科目番号)	運動器障害基礎 理学療法学 I (062111)	教員名	渡邊 昌宏 永井 智	学科等	理学療法	必修	履修年次	2
				曜日・時限等	時間割表参照	単位数	1	
				オフィスアワー		渡邊研究室		
授業概要	運動器障害に対し理学療法の技術体系の基礎と運動療法の理論的枠組みを学習する。具体的には障害に対応した理論と技術(筋力増強法、持久力増強法、体力改善、関節可動域訓練、ストレッチング、痛みの軽減等)を理解する。							
準備学習	毎回の授業について少なくとも1時間程度の予習・復習をすること							
授業計画	回	授業項目	到達目標・学習内容					
	1	ガイダンス、リスク管理	到達目標:整形外科疾患特有のリスク、その対策について理解する。 学習内容:運動器疾患に対するみかた、リスク管理について学習する。					
	2	筋力増強法(1)	到達目標:筋力増強に関わる要因、筋力増強の原則を理解する。 学習内容:筋力増強法の理論、技術について学習する。					
	3	筋力増強法(2)	到達目標:筋力増強法の種類、適応、効果について理解する。 学習内容:筋力増強法の理論、技術について学習する。					
	4	持久力増強法	到達目標:持久力増強の理論、方法、効果について理解する。 学習内容:持久力増強法の理論、技術について学習する。					
	5	体力改善	到達目標:体力改善のための方法、リスク管理、効果について理解する。 学習内容:体力改善に対するアプローチの理論、技術について学習する。					
	6	関節可動域訓練(1)	到達目標:関節可動域障害の原因、組織の変化、経過等について理解する。 学習内容:関節可動域訓練の理論、技術について学習する。					
	7	関節可動域訓練(2)	到達目標:関節可動域訓練の方法について理解する。 学習内容:関節可動域訓練の理論、技術について理解する。					
	8	その他の訓練	到達目標:ストレッチ、モビライゼーション、PNF等の方法、効果について理解する。 学習内容:その他の整形外科疾患に対するアプローチについて学習する。					
	9							
	10							
	11							
	12							
	13							
	14							
15								
成績評価の方法・基準	試験(100%)							
教科書	運動療法学総論		吉尾 雅春			医学書院		
参考図書								
教員からのメッセージ	授業の進捗状況によっては内容を一部変更する場合があります。レポートはコメントを付して後日返却します。							